

「ワクワク」な夏休みミニ研修 レポート3

テーマ『歌唱指導の際にかけてほしい言葉、NG の言葉』（相田先生）

「『もっと大きな声で歌おう』『もっと口を開けて』などの指導をしていませんか?」という問いかけから始まった研修。歌唱指導の難しさをあげながら、なぜ「大きな声で」「もっと口を開けて」という指導言が適切ではないのかを、トライアングルを使いながら教えていただき納得。その後、「ではどう指導したらいいの?」という疑問に対して、4つの指導のポイントを示していただきました。①姿勢を正しく(力を抜こうと思うと、反対に力が入ってしまう。「地面に足をつけること」が大切)②息をいっぱい吸って③声の方向性を意識して(どこに向けて声を出すかターゲットを示すと効果的)④笑顔で歌おう。最後の相田先生の生歌唱は圧巻。鳥肌が立ちました。



テーマ『授業づくり、学級づくりで大切にしていること』（山田先生）



山田先生は、子どもたちさらには私たち教師の「未来」を見据えた答えのない深いお話をしてくださいました。私たち教師も得意なこと、苦手なことがあるように、子どもたち一人一人も得意なこと・苦手なことがある。自分のことは棚に上げて、子どもたちに「〇〇しなさい」と指導したり、「〇〇しなければならない」という固定的な価値観で指導したりするのは、いいのか。私たち教師も、苦手なことを責められたり、「〇〇しないといけない」と言われたりすると苦しくなる。子どもたち一人ひとりの背景を見ようとすると、「困っている子は、助けを必要とする子」という見方に変わってくる。「この指導でいいのか?」「なんのため?」と問い続けることが、子どもたちや教師としての「未来」につながっていきますね。

座談会 テーマ『子どもが来るまで、子どもが帰った後にしているルーティン』



TODO リストを作って、優先順位を意識しているよ。

子どもたちを笑顔で迎えられるように、前日のうちに準備をしているよ。



子どもたちが登校前だけではなく、登校した後の流れも、子どもたちとルーティンをつくられているよ。



【教えて中山先生!『2 学期、子どもたちが登校した時に子どもたちとの時間を充実させるために夏休みにおこうと思うこと』】

まずは、1学期に取り組んだ総合的な学習などの成果物を見直し、コメントを入れたり、2学期以降の展開を考えたりしようと思います。また、学級掲示も一新する予定です。新学期、「頑張るぞ!」と意欲が高まるように教室の雰囲気を整えなおしたり、すぐに係活動などが機能できるように準備したりしようと思っています。さらに図工などの掲示など、夏休みの間にできる準備を進めておき、子どもたちが笑顔で、安心して過ごし、高まっていけるようにしたいと思います。

